

## 和歌山県下水道普及率向上検討会議（ワークショップ結果）

### ○第1グループのまとめ（下水道普及拡大を目指す市町）【参加者12名】

ワークショップでは主に、「水洗化率をいかに上げるか」、「財政状況が厳しいなかで下水道の整備にかかる事業費を削減されている」という議題について議論した。

「水洗化率をいかに上げるか」という議題では、各市町より助成金や普及指導員等独自で行っている方策について発表していただいた。

アドバイザーからは指定工事店の協力を得ながらビラを配る手法や、千葉市の罰則規定の例を挙げ条例により罰則を規定する手法等が紹介された。

「財政状況が厳しいなかで下水道の整備にかかる事業費を削減されている」という議題については、全国的にも下水道区域を縮小する流れとなっており、和歌山県でも縮小していかないとならないとの認識となった。

### ○第2グループのまとめ（維持管理をテーマとする市町）【参加者21名】

ワークショップでは主に、「維持管理費の抑制と職員数の削減について」、「下水汚泥の処理等について」という議題について議論した。

「維持管理費の抑制と職員数の削減について」は維持管理の予算が限られる中、各市町の長寿命化についての取り組み等について発表していただいた。またアドバイザーからは平成28年度からストックマネジメント支援制度がはじまり、この中で改築更新だけでなく、点検調査も補助対象になるということが紹介された。

「下水汚泥の処理等について」汚泥の処理に課題を抱えている市町が一部あり、今後広域的な処理も必要になるといった議論がでた。